

2023 年度

事 業 報 告 書

2023 年 4 月 1 日から
2024 年 3 月 31 日まで

学校法人 大阪初芝学園

2024 年 5 月 24 日

学校法人大阪初芝学園

事 業 報 告 書

私立学校法第 47 条に基づく 2023 年度の本法人の事業報告書は以下のとおりです。

1. 法人の概要

(1) 建学の精神と学園の理念

1937 年 4 月、大阪初芝学園は、大阪初芝商業学校の設立にあたり、校訓を「誠実剛毅」、校則を「剛健なる体力の練磨、勤勉の良風の養成、自治精神の發揮、責任觀念の顕現、謙讓の美德の涵養」と定め、学校教育を通して社会に貢献する教育活動の推進に努力しています。

2010 年 12 月には「夢と高い志、挑戦、そして未来創造」を学園の理念と定め、世界で活躍する創造的な人材の育成を目指し、教育環境と教育活動の一層の充実に努めています。

(2) 学校法人の沿革

- | | | |
|--------|----------|--|
| 1937 年 | 1 月 20 日 | 財団法人大阪初芝学園の設立申請。 |
| | 4 月 30 日 | 財団法人大阪初芝学園設立に係る大阪初芝商業学校設立（文部大臣より許可）。 |
| 1948 年 | 4 月 2 日 | 学制改革により新制高等学校発足。校名を初芝高等学校（普通科・商業科）とする。 |
| 1951 年 | 3 月 8 日 | 財団法人から学校法人に組織変更。 |
| 1953 年 | 4 月 1 日 | 初芝高等学校附属幼稚園開園。 |
| 1982 年 | 8 月 31 日 | 初芝高等学校附属幼稚園スイミングスクール開校。 |
| 1984 年 | 4 月 1 日 | 初芝高等学校富田林分校開校。 |
| 1985 年 | 4 月 1 日 | 初芝高等学校富田林分校を初芝富田林高等学校と名称変更。
初芝富田林中学校開校。 |
| 1991 年 | 4 月 1 日 | 初芝橋本高等学校開校。 |
| 1995 年 | 4 月 1 日 | 初芝橋本中学校開校。 |
| 1998 年 | 4 月 1 日 | 初芝中学校開校。 |
| 2001 年 | 9 月 1 日 | 初芝中学校を狭山登美丘学舎へ移転。 |
| 2003 年 | 4 月 1 日 | はつしば学園小学校開校。 |
| | 9 月 1 日 | 初芝中学校を初芝堺中学校と名称変更。 |
| 2008 年 | 7 月 22 日 | 学校法人立命館と教学提携。 |
| 2009 年 | 4 月 1 日 | 初芝高等学校を初芝立命館高等学校と名称変更。
初芝堺中学校を初芝立命館中学校と名称変更。
初芝高等学校附属幼稚園をはつしば学園幼稚園と名称変更。 |
| 2011 年 | 4 月 1 日 | 初芝立命館高等学校、法人事務局を北野田キャンパス（狭山登美丘学舎）へ移転。 |

(3) 設置する学校、学科等

設置する学校	開校年月	学科等	摘要
初芝立命館高等学校	1937 年 4 月	全日制（普通科、体育科）	
初芝富田林高等学校	1984 年 4 月	全日制（普通科）	
初芝橋本高等学校	1991 年 4 月	全日制（普通科、国際科*1、体育科*2）	
初芝富田林中学校	1985 年 4 月		
初芝橋本中学校	1995 年 4 月	*3	
初芝立命館中学校	1998 年 4 月		
はつしば学園小学校	2003 年 4 月		
はつしば学園幼稚園	1953 年 4 月		

*1 2012 年度から募集停止

*2 2014 年度から募集停止

*3 2024 年度から募集停止

(4) 学校、学科等の生徒数等の状況

2023 年 5 月 1 日現在 単位：人

学校名		入学定員数	収容定員数	現員数	摘要
初芝立命館高等学校	普通科	400	1,200	1,031	
	体育科	40	120	115	
初芝富田林高等学校	普通科	360	1,080	621	
初芝橋本高等学校	普通科	225	675	422	
初芝立命館中学校		180	540	425	
初芝富田林中学校		120	360	210	
初芝橋本中学校		80	240	63	
はつしば学園小学校		140	840	508	
はつしば学園幼稚園		満 3 歳児 75 名 3 歳児 100 名 4 歳 5 歳児若干名	405	297	

(5) 役員の概要

2024年3月31日現在
定員数 理事 7名～17名、監事 2名

	区分	氏名		区分	氏名
1	理事長	森島 朋三	11	理 事	佐本 一晃
2	学園長	牧川 方昭	12	理 事	江川 順一
3	副理事長	川崎 昭治	13	理 事	久野 信之
4	専務理事	宮本 健二	14	理 事	澤田 宗和
5	常務理事	高橋 英幸	15	理 事	道上 達也
6	常務理事	松本 明子	16	理 事	山下 洋一
7	常務理事	城野 靖			
8	理 事	福永 正博	1	監 事	岸田 眞美
9	理 事	花上 徳明	2	監 事	古林 茂
10	理 事	安田 悦司			

(6) 評議員の概要

2024年3月31日現在
定員数 評議員 16名～35名

	氏 名		氏 名		氏 名
1	森島 朋三	13	澤田 宗和	25	栗田 直樹
2	牧川 方昭	14	道上 達也	26	小山 久子
3	福永 正博	15	山下 洋一	27	東留 博孝
4	高橋 英幸	16	仲埜 寿樹	28	石坂 和幸
5	川崎 昭治	17	宮平 智子	29	松本 明子
6	宮本 健二	18	竹谷 知子	30	東野 邦子
7	花上 徳明	19	三井 淳美	31	指吸 明彦
8	安田 悦司	20	岩橋 徹	32	横澤 広久
9	佐本 一晃	21	城野 靖	33	小林 春吉
10	江川 順一	22	高岡 隆真		
11	上野 忠雄	23	山西 登		
12	久野 信之	24	上里 昌輝		

(7) 教職員の概要

2023年5月1日現在

区分		本部	初芝 立命館 中・高校	初芝 富田林 中・高校	初芝 橋本 中・高校	はつしば 学園 小学校	はつしば 学園 幼稚園	計
教 員	本務	2	83	63	31	28	18	225
	兼務	—	24	26	20	14	16	100
職 員	本務	6	3	4	3	3	1	20
	兼務	5	15	12	17	26	5	80

単位：人

2. 事業の概要

本学園は、「夢と高い志、挑戦、そして未来創造」の学園理念のもと、Ⅰ.社会に貢献し世界で活躍する創造的な人材の育成、Ⅱ.生徒・児童・園児の学びと成長を大切にした学園・学校づくりⅢ.初等中等教育及び幼児教育を担う「総合学園」として大阪・和歌山の地域に貢献することを目標とする 2023 基本構想・第 2 次中期計画(2017 年～2022 年度)を策定し、目標の具体化を推進してきた。

近年世界では、エネルギー問題や気候変動、国際紛争など様々な諸問題が複雑に錯綜・拡大している。また、日本国内の情勢は能登半島地震をはじめとした自然災害への対応や物価上昇による生活への影響など、課題は複雑・多様化している。

とりわけ、私立学校を取り巻く環境は、授業料の無償化制度や教員の働き方改革、少子化による生徒・児童・園児数の減少等により、公私を超えた学校間競争は厳しさを増している。

2023 年にはこの厳しい社会状況の中、「学園 Vision2030」の取り組みの推進や課題設定を検討するため「大阪初芝学園レビュー」を開催した。

その他、学園並びに各学校園スクールでは以下の課題に取り組んだ。

(1)学園の取り組み

①幼小中高及びスクールの連携

- ・学園代表者会議の開催（年 2 回）
- ・生徒募集活動における幼小、小中、中高とスイミングスクールの連携

②立命館との教学提携・連携の強化

- ・定期協議会の開催(年 1 回)
- ・立命館からの出向者の受入れ
- ・立命館一貫教育部への出向者の派遣

③優秀な教員の確保と教職員の力量アップ

- ・教員組織整備計画の策定
- ・新任者研修の実施(年 1 回)
- ・教職員合同研修会(年 1 回)

④初芝橋本中学校の募集停止

大阪府南部や和歌山県の少子化の影響等により、入学者数が急激に減少していた初芝橋本中学校(1995 年開校)の生徒募集について、2024 年度より停止することを 2023 年 4 月に臨時理事会を開催し、決定した。

⑤学園名称の変更

2024 年 3 月に開催した第 5 回定例理事会において 2025 年 4 月より学園名を「大阪初芝学園」から「利晶学園」へ変更する事を決定した。

(2)各学校園等の取り組み

①初芝立命館中学校・高等学校

重点目標	具体的な取組内容
1. 新しい教育の実践	
(1)サイエンス教育の重点化と実践	・SSH を申請。2024 年度より指定 ・STEAMS 教育の実施
(2)グローバル教育の重点化と実践	・西オーストラリア州教育省と包括提携を締結。留学先や共同研究を行う学校を視察 ・中期留学 4 名。長期留学 3 名 トビタテ留学 JAPAN に 4 名
2. 先鋭的・特色的な教育内容の実現	
(1)生徒主体の学校活動	・生徒主体の学校行事運営。陵風祭、体育祭を生徒主体で実施。 ・部活動での活躍。自転車部、水泳部はインターハイ、国体出場。
(2)立命館コース独自の教育	・理系や英語に関する校外の活動、立命館・APU のプログラムへの積極的な参加 ・英語でのプログラミング授業を実施
3. 「開かれた学校」に向けた教育活動の展開 企業・地域・他校との連携	
(1)学校との連携	・他校との連携。他校主催の JSSF と国際共同研究に本校生徒が参加
(2)地域との連携	・和歌山県すさみ町での民泊とキャンプ、町の暮らし体験を実施 ・西オーストラリア州と包括提携を締結。学校視察等を実施。
(3)地域との連携	・高校 2 年生では関西起業家、象印等と連携し、ビジネスコンテストを実施 ・中学 3 年生ではタイガーと連携し、卒業記念品を作成
4. 生徒募集	
(1)新設する US コースの入試広報	・国際フォーラムを 2 回実施。49 名が参加
(2)中学入試/高校入試	・中学入試での大阪市内、北摂地域からの生徒獲得 ・おおさか R クラブ。メール配信やオンラインでの運用 ・受験生保護者対象の教育懇談会の実施
5. 進学実績とキャリア形成	
(1)国公立大学合格実績向上 私立大学への合格実績向上	・国公立 14 名進学 ・早稲田 1 名 関関同立 29 名進学
(2 提携校推薦	・理系進学増に向けての取り組み、ラボステイ・サイエンスラボ講座・理系講演等を実施 ・APU 進学者に向けて、立命館 DAY での APU 講演・国際交流@APU 等を実施
6. 施設・設備の整備 ・2024 年度に向けた教室改修 ・1 号館エントランスの空調設備改修	

②初芝富田林中学校高等学校

重点目標	具体的な取組内容
1. 授業・特色教育	
(1)教育目標「本質を問い、本質を見極める力を養う」の実現のための教育内容づくり	・自ら学ぶ姿勢を養う日々の学びの充実。 富読/Tonglish の実施 ・形骸化を無くす工夫を生徒会と共に実施 ・深い学びへの授業の質の向上 「問い」を重視した授業の質の向上と生徒の「質問力」を鍛え、自ら深く考える力を養う ・学びの拡充と実力養成のための放課後有効活用
(2) 授業方法の改善を図り次世代の教育方法を模索する	・ICT に関する定期的な勉強会の実施 ・探究活動の充実と「書く」ことの強化 各分野での入賞 ・対話型論証の授業方法の研究 京都大学松下佳代教授の指導による事前討議・研究授業・事後討議を実施
2. 進路指導	
(1)進路実績向上のための取り組み	・難関大対策プロジェクトリーダーにより、飛躍的な実績向上に向けての取り組みの実施 ・オンデマンド教材/AI 教材のシラバスへの反映及び計画的な小論文指導を通じて個別最適学習の徹底を図った ・進路データ管理の徹底と経年比較による分析
3. 職場環境	
(1)明るい印象を与える職場環境の整備	・休養室/コミュニケーションルーム/応接室の設置 ・体育館/職員室の LED 化
4. 広報活動	
(1)入試広報の強化	・入試部の組織運営強化により機能的/迅速な運営を行った ・広報地域の重点化 ・医学への道/数学の力向上/高大連携等の新しい取り組みの広報 ・HP の計画的更新
5. 施設・設備等の整備	
・教室 空調設備の更新 ・学校図書の充実	

③初芝橋本中学校・高等学校

重点目標	具体的な取組内容
1. 教科教育力の強化と進学実績の向上	
(1)進路指導体制の強化	・進学説明会の実施 ・学問分野別模擬講義の実施 ・大学見学会の実施
2. 立命館コースの高大接続の取り組みの強化と学力向上	
(1)立命館コースの学力向上	・GTECの学力向上 ・学習到達度検証試験の全員合格。 ・英単語学習に学習アプリ「Monoxer」を導入
(2)大学で学び続けるための意識の向上	・各学年・各学期にオリエンテーションを実施 ・入学前教育として大学への数学/英語/オンライン英会話/論文講座/物理/世界史の講義を実施
3. クラブの競技力向上と全国大会出場	
(1)クラブ実績の向上	・競技力向上による全国大会出場 全国大会出場 サッカー部 柔道部 テニス部 なぎなた部 卓球部 近畿大会出場 サッカー部 陸上部 柔道部 テニス部
4. 特色ある教育（探求型教育・グローバル教育・ICT教育）の強化	
(1)自ら学び、自ら考える力の育成	・「初橋探究」の実施 ・「進プロ」「スタサタ！」の実施
(2)生徒が主体となる活動の強化	・校則について、生徒会・校長・生徒指導部による協議を実施 ・若葉祭/体育祭/球技大会/国際交流/模擬選挙等を生徒会を中心に運営
(3)地元と連携し、地元から愛される学校づくり	・インターアクトクラブ 地元公民館にて「子ども食堂」「サマーチャレンジ」への協力 ・図書部 橋本市図書館「よみかたりボランティア養成講座」実施
5. 生徒募集強化による定員の確保	
(1)入試広報活動の強化	・大阪南部への募集活動強化 ・教育活動の広報の充実 ・魅力的な募集行事の実施
6. 施設・設備の整備	
・鶴翼寮 風呂更新工事 ・防火設備更新工事	

④はつしば学園小学校

重点目標	具体的な取組内容
1. 幅広い進路選択を可能にする確かな学力の養成	
(1) 学力推移データ等に基づく現状分析と課題の整理	・到達度テストの学年別現状分析、課題整理 ・難関中学校への合格率の上昇 ・内部進学率約 40%
(2) 授業内容の改善・充実	・校内研修の実施(6回) ・教科研究のもと新任研修を実施
(3) 内部中学校と連携した学力検証の仕組みづくり	・プレテストの積極的受験や入試対策の充実 ・保護者への周知
2. 社会の変化に柔軟に対応できる力の養成	
(1) グループ・ペア学習の深化	・教科部会や学年でグループペア学習を実施
(2) 宿泊体験学習の充実	・1年生から6年生まで宿泊行事を実施
3. 豊かな心の育成	
(1) あたり前のことをあたり前にする心の育成	・研究授業で道徳授業を実施
(2) 児童支援体制の整備	・教育相談/サポート会議を実施 ・スクールカウンセラーとの連携
4. 英語教育の充実	
(1) 英語教科化を踏まえた指導目標・学習内容の体系化	・英語4技能をバランスよく育成 ・フォニックステストを実施
(2) 授業の充実	・ネイティブ教員と日本人英語教員との連携による授業の充実 ・新教材「EnglishCode」を採用。プロジェクト等児童主体の活動
(3) 上位層を伸ばす仕組み作り	・西日本レシテーションコンテスト 入賞者2名 ・
5. はつしばサイエンス・テクノロジー教育の充実・深化	
(1) 理科に関心を持つ心の育成	・初芝立命館高校のサイエンスラボ利用の研修を実施 ・理科部会を定期的に実施
(2) プログラミング学習の実践	・グルーヴノートと連携し、テクノロジー教育を新たに実践
6. 安定した学校運営	
(1) 募集定員の確保	・訪問地域/訪問幼児教室等の重点化 ・幼児教室との連携 ・はつしば学園幼稚園との連携強化
7. 施設・設備の整備	
・トイレ改修工事 ・ICT環境の整備	

⑤はつしば学園幼稚園

重点目標	具体的な取組内容
1. 保育の質の向上と教育内容の充実	
(1) 正課授業の充実	・「GrapeSEED」「LittleSEED」「EnglishTime」の活用 ・行事の充実 運動会を年少・年中・年長で実施 はつしばフェスティバルの実施 国際交流を実施
(2) 課外授業の充実	・バレエ/絵画/サッカー/体操/書き方等開催 ・卒園児を対象とした放課後課外教室を実施。(英語教育等)
(3) 預かり保育の充実	・長期休暇中の昼食を弁当/給食の選択制を導入 ・チケットレス化を実施
2. 園児募集	
(1) 広報の充実	・ホームページ、SNS、動画配信を活用
(2) 募集関連行事の充実	・園庭開放を実施 ・ひよこ教室の実施 ・入園園内見学会の実施
(3) 学園内交流による教育	・小学校の先生による知育教室を開催 ・子育てサロン会を開催
3. その他	
・創立 70 周年記念式典を開催 ・初芝立命館中高 吹奏楽部によるサマーコンサートを開催 ・スクールバスへ乗降時の安全装置を設置	

⑥初芝スイミングスクール

重点目標	具体的な取組内容
1. 会員育成	・全国 JOC ジュニアオリンピック 400m自由形 優勝（大会新記録） 800m自由形 優勝（大会新記録） 全国中学校水泳競技大会 400m自由形 優勝 800m自由形 優勝
2. 会員獲得	・2024年2月現在、921名在籍。 ・年3回(6月・10月・2月)の1ヶ月体験教室、年2回(7月・3月)の短期教室を実施
3. 学園内各校園との連携強化	・はつしば学園幼稚園との連携 体育授業の一環で水泳授業を実施 預かり保育/延長保育でスイミングスクールの授業を受講。 ・はつしば学園小学校との連携 小学校の体育授業の一環として水泳授業を実施 ・初芝立命館高等学校との連携 高等学校体育科の授業に施設貸与 ・初芝富田林中学校の授業に施設貸与

3.施設等の状況

2024 年 3 月 31 日現在

主な施設設備の状況は次のとおりである。

面積：㎡ 金額：千円

所在地	施設等	面積等	取得価額	帳簿価額	摘 要
堺市東区日置荘西町 (はつしば学園幼稚園)	園地	4,301	141,151	141,151	
	園舎	2,884	587,087	308,680	
同上 (初芝スイミングスクール)	土地	1,518	28,868	28,868	
	建物	1,304	322,111	82,829	
堺市東区西野 (北野田キャンパス)	校地	48,523	2,916,279	2,916,279	はつしば学園小学校 初芝立命館中高等学校. 本部分含む
	校舎	29,463	4,229,231	2,071,360	
富田林市彼方 (初芝富田林中高)	校地	58,314	1,335,086	1,335,086	借地
		8,463	—	—	
	校舎	11,845	3,086,158	1,207,006	
橋本市小峰台 (初芝橋本中高)	校地	39,053	1,258,000	1,258,000	寮敷地 (714 ㎡) 含む
	校舎	12,006	3,245,274	1,323,533	
	寮建物	2,093	608,706	277,930	
三重県南伊勢町	土地	92,929	1,711	1,711	未利用

※校舎には、建物付属設備及び構築物を含む。

4.財務の概要

(1) 計算書類

資金収支計算

2023 年 4 月 1 日から

2024 年 3 月 31 日まで

単位：円

	a. 2023 年度 第 2 回補正予算	b. 2023 年度 決 算	差 異 (a－b)
資金収入	7, 152, 772, 575	7, 216, 353, 987	△63, 581, 412
前年度繰越支払資金	2, 252, 442, 306	2, 252, 442, 306	
収入の部合計	9, 405, 214, 881	9, 468, 796, 293	
資金支出	7, 140, 505, 196	7, 053, 599, 933	86, 905, 263
翌年度繰越支払資金	2, 264, 709, 865	2, 415, 196, 360	△150, 486, 675
支出の部合計	9, 405, 214, 881	9, 468, 796, 293	△63, 581, 412

事業活動収支計算

2023 年 4 月 1 日から

2024 年 3 月 31 日まで

単位：円

		a. 2023 年度 第 2 回補正予算額	b. 2023 年度 決 算	差 異 (a-b)
教育活動収支	事業活動収入の部	3,992,640,284	3,978,768,551	13,871,733
	事業活動支出の部	4,109,296,502	3,922,564,309	186,732,193
	収支差額	△116,656,218	56,204,242	△172,860,460
教育活動外収支	事業活動収入の部	19,212,494	18,075,542	1,136,952
	事業活動支出の部	157,470	158,171	△701
	収支差額	19,055,024	17,917,371	1,137,653
経常収支差額		△97,601,194	74,121,613	△171,722,807
特別収支	事業活動収入の部	23,410,100	33,932,026	△10,521,926
	事業活動支出の部	0	3,011,996	△3,011,996
	収支差額	23,410,100	30,920,030	△7,509,930
[予備費]		370,000		370,000
基本金組入前当年度収支差額		△74,561,094	105,041,643	△179,602,737
基本金組入額合計		△146,070,837	△72,654,359	△73,416,478
当年度収支差額		△220,631,931	32,387,284	△253,019,215
前年度繰越収支差額		△4,701,595,454	△4,701,595,454	0
翌年度繰越収支差額		△4,922,227,385	△4,669,208,170	△253,019,215

貸 借 対 照 表

2024 年 3 月 31 日

単位：円

	a. 本年度末	b. 前年度末	増 減 (a-b)
資産の部			
固定資産	13,545,307,979	13,576,923,729	△31,615,750
流動資産	2,870,705,441	2,767,299,759	103,405,682
合 計	16,416,013,420	16,344,223,488	71,789,932
負債の部			
固定負債	561,294,843	562,072,956	△777,413
流動負債	929,498,658	961,972,956	△32,474,298
合 計	1,490,793,501	1,524,045,212	△33,251,711
純資産の部			
基本金	19,594,428,089	19,521,733,730	72,654,359
繰越収支差額	△4,669,208,170	△4,701,595,454	32,387,284
合 計	14,925,219,919	14,820,178,276	105,041,643
負債及び純資産の部			
合 計	16,416,013,420	16,344,223,488	71,789,932

(2) 主な財務比率比較

単位：％

比率名	算式	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
事業活動収支 差額比率 (△)	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	5.7	5.8	7.6	3.7	2.6
基本金組入後 収支比率 (▼)	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入－基本金組額}}$	101.9	106.9	93.1	109.0	99.2
学生生徒等 納付金比率 (～)	$\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{経常収入}}$	50.4	53.9	53.5	53.7	53.8
人件費比率 (▼)	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	61.4	60.2	60.7	62.5	62.4
教育研究経費 比率 (△)	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	18.2	18.9	18.4	19.6	20.0
管理経費比率 (▼)	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	15.3	15.6	14.8	15.1	15.7
流動比率 (△)	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	256.2	314.8	312.1	287.6	308.9
負債比率 (▼)	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	10.5	9.2	9.7	10.3	10.0
純資産構成 比率 (△)	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債+純資産}}$	90.5	91.6	91.1	90.7	90.9
基本金比率 (△)	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	99.2	99.9	99.4	99.6	99.3

■ 比率名の（ ）内の記号は、評価を表している（「今日の私学財政」（日本私立学校振興・共済事業団）による）

（△）：高い値が良い （▼）：低い値が良い （～）：どちらともいえない

(3) その他

①有価証券の状況

区分	銘 柄	数 量	B/S 価額	時 価	計上科目
株式	王子ホールディングス他	89,510 株	59,892,124 円	121,208,192 円	有価証券
合計		89,510 株	59,892,124 円	121,208,192 円	

②学校債の状況

発行年度	本年度末残高	利息	償還期限	摘 要
2022 年度	55,400,000 円	－%	2025 年 3 月	
2023 年度	54,800,000 円	－%	2026 年 3 月	
2024 年度	48,000,000 円	－%	2027 年 3 月	
合 計	139,600,000 円			

③寄付金の状況

寄付金の種類	寄 附 者	金 額	摘 要
特別寄付金	各校保護者会等	42,420,431 円	
現物寄付金	各校保護者会等	10,137,498 円	

④主な補助金の状況

補助金の内訳	金 額	摘 要
国庫補助金	22,930,000 円	施設事業補助金他
大阪府経常費補助金	954,456,000 円	
大阪府授業料支援補助金	311,213,234 円	
和歌山県経常費補助金	171,434,000 円	
大阪府その他の補助金	12,572,983 円	幼稚園特別支援事業費補助金等
和歌山県その他の補助金	2,334,841 円	県電気料金高騰対策一時支援金等
市町村他補助金	2,617,659 円	堺市、橋本市

⑤収益事業の状況

スイミングスクール（サービス業）の状況は次のとおりである。

損益計算書

単位:千円

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
売上高等	95,414	47,839	89,466	97,832	109,023
売上原価	2,413	1,473	1,883	2,033	1,403
販売管理費等	88,211	81,791	92,112	86,237	102,620
当期純損益	4,789	△35,426	△4,529	9,562	5,000

※ 千円未満の端数処理の関係で内訳の計が合計と一致しないことがある。

貸借対照表

単位:千円

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
流動資産	119,555	149,078	220,768	155,615	245,192
固定資産	21,622	19,721	16,844	13,420	9,915
資産合計	141,178	168,800	237,612	169,035	255,107
流動負債	9,505	8,533	11,341	9,654	10,531
固定負債	9,909	7,576	7,514	7,223	7,602
負債合計	19,415	16,110	18,855	16,877	18,133
純資産合計	121,762	152,689	218,757	152,157	236,974
負債・純資産合計	141,178	168,800	237,612	169,035	255,107

※ 千円未満の端数処理の関係で内訳の計が合計と一致しないことがある。